

令和7年度実績・令和8年度計画 取組シート

目標		施策方針		具体的施策内容	令和7年度実績・令和8年度計画
脱炭素社会づくり	温室効果ガス排出量の削減を推進します。	A さらなる省エネルギー化を進めます。	① 省エネ性能の高い設備・機器の導入	給湯器、エアコン・空調機、冷蔵庫、照明設備など家庭や事業所における電気機器・ガス機器について、省エネルギー性能の高いものへの転換を促す。 そのため、省エネルギー性能の高い機器に転換することのメリットをPRするとともに、普及促進のための補助等の支援を行う。	<令和7年度> 実施なし <令和8年度> 省エネ性能が高い機器の購入を目指す。
			② 建物の省エネ化の促進	住宅建物の断熱性能を向上することで、冷暖房のエネルギーロスを抑制する。 太陽光発電等の再生可能エネルギーと組み合わせ、家庭の消費エネルギーの収支をゼロにするZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）や、省エネ基準適合住宅の普及を推進する。	<令和7年度> 実施なし <令和8年度> 実施予定なし
			③ 自動車の省エネ化の促進	電気自動車等の環境性能に優れた自動車への乗り換えを促す。	<令和7年度> 実施なし <令和8年度> 実施予定なし
			④ 暮らしの省エネ化の促進	省エネルギー・低炭素型の製品・サービスを選んだり、自ら行動したりするなど、市民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を促す国民運動により、暮らしの省エネ化、エコライフの定着を図る。	<令和7年度> エアコン設定温度を高めにした（冷房時）。 <令和8年度> エアコン設定温度を高めにする（冷房時）。
			⑤ 市役所における率先した取組	市の事務・事業に伴う温室効果ガスの排出抑制に率先して取り組む。	
		B 再生可能エネルギーの利用を進めます。	① 太陽光発電設備の導入	太陽光発電設備についての情報発信を進めるほか、発電設備の設置について補助等の支援を行うことで、再生可能エネルギーの導入を促進する。	<令和7年度> 実施なし <令和8年度> 実施予定なし
			② 再生可能エネルギーの利用促進	太陽光発電設備に加えて蓄電池設備を併用することにより、電力の自家消費を促す。また、再生可能エネルギー由来の電力への選択（契約の切り替え）を促す。	<令和7年度> 実施なし <令和8年度> 実施予定なし
		C 脱炭素型のまちへの転換を進めます。	① 公共交通等の利用促進	エコモビリティライフを実践するための情報提供、環境整備を進め、公共交通の利用を促す。	<令和7年度> 公共交通機関で移動できる場所へは、公共交通機関を使って移動した。 <令和8年度> 公共交通機関で移動できる場所へは、公共交通機関を使って移動する。
			② ごみの減量	ごみの焼却処分に伴う温室効果ガスの削減を図るため、ごみの減量化を促進するとともに、プラスチックの資源化を進める。	<令和7年度> ゴミ分別を徹底して行った。 <令和8年度> ゴミ分別を徹底して行い、ゴミ減量を行う。
			③ 地産地消の推進	身近なエネルギー、資源、食品などを、無駄なく利用する“地産地消”を推進する。	<令和7年度> 地産地消を心掛けた。 <令和8年度> 地産地消を実践する。
			④ 緑の保全・創出	二酸化炭素の削減やヒートアイランド現象の影響抑制・緩和に寄与するため、緑の保全・創出を進める。	<令和7年度> 宅内植物の育成した。 <令和8年度> 宅内植物が順調に生育するように心がける。

令和7年度実績・令和8年度計画 取組シート

目標		施策方針		具体的施策内容	令和7年度実績・令和8年度計画
脱炭素社会づくり	温室効果ガス排出量の削減を推進します。	A	さらなる省エネルギーを進めます。	① 省エネ性能の高い設備・機器の導入	<令和7年度> ・建物照明設備のLED化完了（本館建物および別棟建物） <令和8年度> ・経年劣化の電気機器について省エネ性能の高い機器に取替
				② 建物の省エネ化の促進	<令和7年度> ・執務室1フロア化による照明・空調機等の使用抑制
				③ 自動車の省エネ化の促進	<令和7年度> ・社有車両におけるエコドライブの徹底（急ブレーキ・急ハンドル・急加速をシステム検知・記録） ・業務用車輛への電気自動車（EV・PHEV・HV）の導入 計5台 <令和8年度以降> ・業務用車輛への電気自動車（EV・PHEV・HV）の導入（特殊車両等を除き2030年までに100%導入予定） 全15台
				④ 暮らしの省エネ化の促進	<令和7年度> ・建物空調は制御盤にてタイマー設定し、自動切設定を実施（退社時の電源オフ確認（パソコン・照明・加温器等） ・身近な節電対策への取り組み（トイレの温水・便座の設定温度を下げる、廊下・トイレ・給湯室は必要時のみ点灯、ハンドドライヤー・小型温水器電源OFF） ・節水型シャワーヘッドへの取替 ・在宅勤務・リモート会議の活用
				⑤ 市役所における率先した取組	市の事務・事業に伴う温室効果ガスの排出抑制に率先して取り組む。
		B	再生可能エネルギーの利用を進めます。	① 太陽光発電設備の導入	太陽光発電設備についての情報発信を進めるほか、発電設備の設置について補助等の支援を行うことで、再生可能エネルギーの導入を促進する。
				② 再生可能エネルギーの利用促進	太陽光発電設備に加えて蓄電池設備を併用することにより、電力の自家消費を促す。また、再生可能エネルギー由来の電力への選択（契約の切り替え）を促す。
		C	脱炭素型のまちへの転換を進めます。	① 公共交通等の利用促進	エコモビリティライフを実践するための情報提供、環境整備を進め、公共交通の利用を促す。
				② ごみの減量	<令和7年度> ・業務文書や会議資料のペーパーレス化推進 ・印刷時の工夫により、用紙枚数や複写枚数を削減 ・「紙ごみ」は分別してリサイクル(可燃ごみと混同しない) ・電線くず・廃プラスチックのリサイクル ・リサイクルペーパー・リサイクルトイレットペーパー購入 <令和8年度> ・DX推進によるさらなるペーパーレス化推進
				③ 地産地消の推進	身近なエネルギー、資源、食品などを、無駄なく利用する“地産地消”を推進する。
				④ 緑の保全・創出	<令和7年度> ・「緑のカーテン」キャンペーンの展開（アサガオ・ニガウリの種配付）

令和7年度実績・令和8年度計画 取組シート

目標		施策方針		具体的施策内容		令和7年度実績・令和8年度計画
脱炭素社会づくり	温室効果ガス排出量の削減を推進します。	A	さらなる省エネルギー化を進めます。	①	省エネ性能の高い設備・機器の導入	<令和7年度> 高効率ガス空調、LED照明等の省エネ設備の導入。 <令和8年度> 令和7年度活動を継続。
				②	建物の省エネ化の促進	<令和7年度> 建物別のエネルギー使用量実績の管理・周知。「オフィス省エネマニュアル」の周知。不要照明の消灯、空調温度の適正化、エレベータの使用抑制等を実施。また、省エネ設備の導などの投資検討の際に、インターナルカーボンプライシングを試行導入。 <令和8年度> 令和7年度活動を継続。
				③	自動車の省エネ化の促進	<令和7年度> 燃料電池自動車の普及に貢献するため、水素ステーションを整備・運用。低公害車の導入。 <令和8年度> 令和7年度活動を継続。
				④	暮らしの省エネ化の促進	<令和7年度> 燃料転換と併せて高効率ガス機器の普及促進。太陽光発電とエネファーム（家庭用燃料電池）との組み合わせによるZEH提案を推進。 <令和8年度> 令和7年度活動を継続。
				⑤	市役所における率先した取組	<令和7年度> 令和6年度にEF、令和7年度から太陽光のJクレジットスキームを導入し、地域の脱炭素活動を推進。 <令和8年度> 令和7年度活動を継続。
		B	再生可能エネルギーの利用を進めます。	①	太陽光発電設備の導入	<令和7年度> 電気事業において、再生可能エネルギーの電源開発・調達を拡大。 <令和8年度> 令和7年度活動を継続。
				②	再生可能エネルギーの利用促進	<令和7年度> 自治体等と共同で設立した地域新電力において、ゴミ発電等の地域の再生可能エネルギーを公共施設などへ供給。 <令和8年度> 再エネの普及に向けた再投資や、自治体への寄附等に還元。
		C	脱炭素型のまちへの転換を進めます。	①	公共交通等の利用促進	<令和7年度> 通勤は公共交通機関の利用を基本としている。 <令和8年度> 令和7年度活動を継続。
				②	ごみの減量	<令和7年度> ペーパーレスを推進するなど、一般廃棄物の削減と再資源化を継続。非開削工法の導入、仮埋戻し材活用の推進による掘削土類の発生量を抑制。 <令和8年度> 令和7年度活動を継続。
				③	地産地消の推進	<令和7年度> 自治体等と共同で設立した地域新電力において、ゴミ発電等の地域の再生可能エネルギーを公共施設などへ供給し、エネルギーの地産地消を推進。 <令和8年度> 令和7年度活動を継続
				④	緑の保全・創出	<令和7年度> ・里山保全活動を実施しているNPO・企業等の活動に参加。 <令和8年度> 令和7年度活動を継続。

令和7年度実績・令和8年度計画 取組シート

目標		施策方針			具体的施策内容	令和7年度実績・令和8年度計画
脱炭素社会づくり	温室効果ガス排出量の削減を推進します。	A	さらなる省エネルギー化を進めます。	①	省エネ性能の高い設備・機器の導入	JAあいち尾東では、令和7年度以降は空調機・電気機器・照明器具等についても、環境に配慮した消費エネルギーの少ない器具備品に更新し、省エネ化を実現して行きます。
				②	建物の省エネ化の促進	令和7年6月に日進グリーンセンター建物を更新し、建物については断熱性を向上させ、省エネ化を実現しました、駐車場にEV充電設備を設置しました。
				③	自動車の省エネ化の促進	現在、エコカー・ハイブリット車等の環境に配慮した車両の導入予定はないですが、今後の検討課題として取り組んで行く予定です。
				④	暮らしの省エネ化の促進	JAあいち尾東が毎月発行する広報誌（ぐりんぷらざ）で省エネ等の特集を組み、省エネの役立つ情報を掲載する予定です。
				⑤	市役所における率先した取組	
		B	再生可能エネルギーの利用を進めます。	①	太陽光発電設備の導入	JAあいち尾東では現在、米野木支店で太陽光発電を導入していますが、全体での導入は進めておりません。
				②	再生可能エネルギーの利用促進	現在、中部電力と契約をしていますが、今後も検討し、温室ガスの排出削減に努めて参ります。
		C	脱炭素型のまちへの転換を進めます。	①	公共交通等の利用促進	JAあいち尾東では基本的にweb会議を導入し、c o 2削減に努めています。また、集合研修・集合会議については乗り合わせで参加するように役職員に促しています。
				②	ごみの減量	ゴミの分別化を徹底し、適切にリサイクルされる仕組みを実践し、産業廃棄物処理に伴う温室ガス削減に取り組んでいます。また、ペーパーレス会議導入により、電子化にすることで資源の有効活用に努めています。
				③	地産地消の推進	JAあいち尾東ではグリーンセンターにおいて、地元農家が栽培した野菜を販売する産直所を設置し、米・野菜等の地産地消に取り組んでいます。
				④	緑の保全・創出	JAあいち尾東では令和8年度以降もC02削減やヒートアイランド現象の抑制や緩和に寄与するため、田畑等の農地保全活動を通じて、緑の保全、創出に努めます。

令和7年度実績・令和8年度計画 取組シート

目標		施策方針		具体的施策内容		令和7年度実績・令和8年度計画
脱炭素社会づくり	温室効果ガス排出量の削減を推進します。	A	さらなる省エネルギーを進めます。	① 省エネ性能の高い設備・機器の導入	給湯器、エアコン・空調機、冷蔵庫、照明設備など家庭や事業所における電気機器・ガス機器について、省エネルギー性能の高いものへの転換を促す。 そのため、省エネルギー性能の高い機器に転換することのメリットをPRするとともに、普及促進のための補助等の支援を行う。	<令和7年度>現在、全営業所及びバス車両にLED照明器具を導入。 <令和8年度>今後も新造バス車両にLED照明器具を導入。
				② 建物の省エネ化の促進	住宅建物の断熱性能を向上することで、冷暖房のエネルギーロスを抑制する。 太陽光発電等の再生可能エネルギーと組み合わせ、家庭の消費エネルギーの収支をゼロにするZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）や、省エネ基準適合住宅の普及を推進する。	
				③ 自動車の省エネ化の促進	電気自動車等の環境性能に優れた自動車への乗り換えを促す。	<令和7年度>当営業所で小型EV車両を2両所有、他営業所では大型EV車両2両と小型EV車両1両を所有。他営業所でFCV車1両を所有。また、他営業所でリニューアブルディーゼル（植物油等を利用した軽油）車両を1両導入（実証実験）。 <令和8年度>EV車両を導入予定。
				④ 暮らしの省エネ化の促進	省エネルギー・低炭素型の製品・サービスを選んだり、自ら行動したりするなど、市民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を促す国民運動により、暮らしの省エネ化、エコライフの定着を図る。	<令和7年度>当営業所ではサイクル&ライドを実施。他営業所ではパーク&ライド、サイクル&ライドを実施。 <令和8年度>引き続き、サイクル&ライドを実施。
				⑤ 市役所における率先した取組	市の事務・事業に伴う温室効果ガスの排出抑制に率先して取り組む。	
		B	再生可能エネルギーの利用を進めます。	① 太陽光発電設備の導入	太陽光発電設備についての情報発信を進めるほか、発電設備の設置について補助等の支援を行うことで、再生可能エネルギーの導入を促進する。	<令和7年度>現在、他営業所において太陽光発電装置を導入。 <令和8年度>来年度以降、営業所建て替えなどのタイミングで太陽光発電装置を導入予定。
				② 再生可能エネルギーの利用促進	太陽光発電設備に加えて蓄電池設備を併用することにより、電力の自家消費を促す。また、再生可能エネルギー由来の電力への選択（契約の切り替え）を促す。	
		C	脱炭素型のまちへの転換を進めます。	① 公共交通等の利用促進	エコモビリティライフを実践するための情報提供、環境整備を進め、公共交通の利用を促す。	<令和7年度>ジブリパークなどの多客路線の増便を実施。バスの利用促進を図るため、各営業所においてバスの乗り方教室を随時実施。 <令和8年度>各営業所においてバスの乗り方教室を随時実施。
				② ごみの減量	ごみの焼却処分に伴う温室効果ガスの削減を図るため、ごみの減量化を促進するとともに、プラスチックの資源化を進める。	
				③ 地産地消の推進	身近なエネルギー、資源、食品などを、無駄なく利用する“地産地消”を推進する。	
				④ 緑の保全・創出	二酸化炭素の削減やヒートアイランド現象の影響抑制・緩和に寄与するため、緑の保全・創出を進める。	

令和7年度実績・令和8年度計画 取組シート

目標		施策方針			具体的施策内容	令和7年度実績・令和8年度計画
脱炭素社会づくり	温室効果ガス排出量の削減を推進します。	A	さらなる省エネルギー化を進めます。	① 省エネ性能の高い設備・機器の導入	給湯器、エアコン・空調機、冷蔵庫、照明設備など家庭や事業所における電気機器・ガス機器について、省エネルギー性能の高いものへの転換を促す。 そのため、省エネルギー性能の高い機器に転換することのメリットをPRするとともに、普及促進のための補助等の支援を行う。	<令和7年度> 第2工場への強制換気システム導入 コンプレッサーの更新 <令和8年> コンプレッサーの台数削減
				② 建物の省エネ化の促進	住宅建物の断熱性能を向上することで、冷暖房のエネルギーロスを抑制する。 太陽光発電等の再生可能エネルギーと組み合わせ、家庭の消費エネルギーの収支をゼロにするZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）や、省エネ基準適合住宅の普及を推進する。	遮熱塗装実施済のため今後計画なし
				③ 自動車の省エネ化の促進	電気自動車等の環境性能に優れた自動車への乗り換えを促す。	<令和7年度> EV、ハイブリッド車の拡販協力金展開
				④ 暮らしの省エネ化の促進	省エネルギー・低炭素型の製品・サービスを選んだり、自ら行動したりするなど、市民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を促す国民運動により、暮らしの省エネ化、エコライフの定着を図る。	<令和7年度> 各課単位のCN活動報告会の開催
				⑤ 市役所における率先した取組	市の事務・事業に伴う温室効果ガスの排出抑制に率先して取り組む。	
		B	再生可能エネルギーの利用を進めます。	① 太陽光発電設備の導入	太陽光発電設備についての情報発信を進めるほか、発電設備の設置について補助等の支援を行うことで、再生可能エネルギーの導入を促進する。	工場耐久検討し設置可能な工場へ太陽光設置済 <令和9年度以降> 壁への発電パネル検討中
				② 再生可能エネルギーの利用促進	太陽光発電設備に加えて蓄電池設備を併用することにより、電力の自家消費を促す。また、再生可能エネルギー由来の電力への選択（契約の切り替え）を促す。	現状太陽光発電量の97%を使用し、残りは電力会社が売電 <令和9年度以降> 蓄電システム検討
		C	脱炭素型のまちへの転換を進めます。	① 公共交通等の利用促進	エコモビリティライフを実践するための情報提供、環境整備を進め、公共交通の利用を促す。	<令和9年度以降> 通勤手当の改訂によるエコモビリティへの誘導
				② ごみの減量	ごみの焼却処分に伴う温室効果ガスの削減を図るため、ごみの減量化を促進するとともに、プラスチックの資源化を進める。	<令和8年度> 使用しているプラスチック製品の再利用可能材質への変換
				③ 地産地消の推進	身近なエネルギー、資源、食品などを、無駄なく利用する“地産地消”を推進する。	<令和7年度以降> 回生エネルギーの探索
				④ 緑の保全・創出	二酸化炭素の削減やヒートアイランド現象の影響抑制・緩和に寄与するため、緑の保全・創出を進める。	計画なし

令和7年度実績・令和8年度計画 取組シート

目標		施策方針		具体的施策内容		令和7年度実績・令和8年度計画	
脱炭素社会づくり	温室効果ガス排出量の削減を推進します。	A	さらなる省エネルギー化を進めます。	①	省エネ性能の高い設備・機器の導入	給湯器、エアコン・空調機、冷蔵庫、照明設備など家庭や事業所における電気機器・ガス機器について、省エネルギー性能の高いものへの転換を促す。 そのため、省エネルギー性能の高い機器に転換することのメリットをPRするとともに、普及促進のための補助等の支援を行う。	<令和7年度>・事務所内エアコン入替（8月末）予定 <令和8年度>・浴場にエコキュート導入予定
				②	建物の省エネ化の促進	住宅建物の断熱性能を向上することで、冷暖房のエネルギーロスを抑制する。 太陽光発電等の再生可能エネルギーと組み合わせ、家庭の消費エネルギーの収支をゼロにするZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）や、省エネ基準適合住宅の普及を推進する。	
				③	自動車の省エネ化の促進	電気自動車等の環境性能に優れた自動車への乗り換えを促す。	
				④	暮らしの省エネ化の促進	省エネルギー・低炭素型の製品・サービスを選んだり、自ら行動したりするなど、市民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を促す国民運動により、暮らしの省エネ化、エコライフの定着を図る。	<令和7年度> ・従業員への情報提供 ・SDGsやCNをテーマにした社内教育実施 <令和8年度>・継続
				⑤	市役所における率先した取組	市の事務・事業に伴う温室効果ガスの排出抑制に率先して取り組む。	
	B	再生可能エネルギーの利用を進めます。	①	太陽光発電設備の導入	太陽光発電設備についての情報発信を進めるほか、発電設備の設置について補助等の支援を行うことで、再生可能エネルギーの導入を促進する。	<令和8年度> 太陽光パネルの設置検討	
			②	再生可能エネルギーの利用促進	太陽光発電設備に加えて蓄電池設備を併用することにより、電力の自家消費を促す。また、再生可能エネルギー由来の電力への選択（契約の切り替え）を促す。	<令和7年度> 岐阜久尻工場において2023.9月より再エネ電気導入→継続 <令和8年度>継続	
	C	脱炭素型のまちへの転換を進めます。	①	公共交通等の利用促進	エコモビリティライフを実践するための情報提供、環境整備を進め、公共交通の利用を促す。		
			②	ごみの減量	ごみの焼却処分に伴う温室効果ガスの削減を図るため、ごみの減量化を促進するとともに、プラスチックの資源化を進める。	<令和7年度> ・ペーパーレス化の推進継続 <令和8年度> ・継続	
			③	地産地消の推進	身近なエネルギー、資源、食品などを、無駄なく利用する“地産地消”を推進する。		
			④	緑の保全・創出	二酸化炭素の削減やヒートアイランド現象の影響抑制・緩和に寄与するため、緑の保全・創出を進める。	<令和7年度> ・グリーンカーテンの範囲を拡げて実施、コンテストエントリー済 <令和8年度>・継続	

令和7年度実績・令和8年度計画 取組シート

目標		施策方針			具体的施策内容	令和7年度実績・令和8年度計画
脱炭素社会づくり	温室効果ガス排出量の削減を推進します。	A	さらなる省エネルギー化を進めます。	①	省エネ性能の高い設備・機器の導入	＜令和7年度＞ ・空調機：老朽更新を中長期計画を立てて実施2台更新 ・照明は全LED化21年度から3か年計画 25年度 全完了 ・コンプレッサ（空気圧縮機）は、高効率の中型化に更新 ＜令和8年度＞継続取組みを行う ＜令和9年度＞高効率熱処理炉の導入検討する
				②	建物の省エネ化の促進	＜令和7年度＞ 一部建屋断熱材施工によるエネルギー費用低減 ＜令和8年度＞前年度取組 継続取組みを行う ＜令和9年度＞新技術の取り込み検討
				③	自動車の省エネ化の促進	＜令和7年度＞アイドリングストップの推進をしています ＜令和8年度＞PHEV、FCV積極的導入検討 ＜令和9年度＞前年度 継続取組みを行う
				④	暮らしの省エネ化の促進	＜令和7年度＞ ・ISO14001更新 ・1回/月 工場長、各委員によるKPIの確認と取組み共有 ・1回/3カ月 全役員による “ ” ＜令和8年度以降＞継続取組を行う
				⑤	市役所における率先した取組	
		B	再生可能エネルギーの利用を進めます。	①	太陽光発電設備の導入	太陽光発電設備についての情報発信を進めるほか、発電設備の設置について補助等の支援を行うことで、再生可能エネルギーの導入を促進する。
				②	再生可能エネルギーの利用促進	太陽光発電設備に加えて蓄電池設備を併用することにより、電力の自家消費を促す。また、再生可能エネルギー由来の電力への選択（契約の切り替え）を促す。
		C	脱炭素型のまちへの転換を進めます。	①	公共交通等の利用促進	＜令和7年度以降＞引き続き検討
				②	ごみの減量	＜令和7年度＞ ・アルカリ水仕様による更液頻度変更（廃液低減） ・廃液再利用取組み（廃液低減） ＜令和8年度以降＞継続取組を行う
				③	地産地消の推進	
				④	緑の保全・創出	＜令和7年度以降＞引き続き 工場立地法の順守

令和7年度実績・令和8年度計画 取組シート

目標		施策方針			具体的施策内容	令和7年度実績・令和8年度計画
脱炭素社会づくり	温室効果ガス排出量の削減を推進します。	A	さらなる省エネルギー化を進めます。	①	省エネ性能の高い設備・機器の導入	〈令和7年度〉 ・洗濯機の買い替え→省エネ・節水タイプを購入 〈令和8年度〉
				②	建物の省エネ化の促進	〈令和7年度〉 ・グリーンカーテンの実施及びエアコン室外機の日よけを設置 〈令和8年度〉 ・クリーンカーテンの継続
				③	自動車の省エネ化の促進	〈令和7年度〉 ・ハイブリッド車とe-Power車を使用 ・急加速や急ブレーキなどしないようエコドライブに気を付けています
				④	暮らしの省エネ化の促進	〈令和7年度〉 ・消費期限切れ間近の商品が残っていれば、優先して購入しています。 ・室内エアコンは、28度に設定。夜間は停止。 〈令和8年度〉上記を継続する
				⑤	市役所における率先した取組	
		B	再生可能エネルギーの利用を進めます。	①	太陽光発電設備の導入	〈令和7年度以降〉 ・リフォームのタイミングに合わせて太陽光発電の導入を検討したい
				②	再生可能エネルギーの利用促進	
		C	脱炭素型のまちへの転換を進めます。	①	公共交通等の利用促進	〈令和7年度〉 ・公共交通で移動できるときは極力利用する
				②	ごみの減量	〈令和7年度〉 ・地元の自治会にて、フードドライブ&パントリーを実施(月一回/丘の上カフェにて) 上記活動の継続に加えて、 ・ローリングストック(アルファ化米)を防災訓練の炊き出しで配布。 ・保冷剤の再利用として「防災の簡易トイレの凝固剤」として訓練時に実験 ★フードドライブと防災備蓄品の啓蒙を自治会内で実施していきたいと考えています。
				③	地産地消の推進	
				④	緑の保全・創出	

令和7年度実績・令和8年度計画 取組シート

目標		施策方針			具体的施策内容	令和7年度実績・令和8年度計画
脱炭素社会づくり	温室効果ガス排出量の削減を推進します。	A	さらなる省エネルギー化を進めます。	① 省エネ性能の高い設備・機器の導入	給湯器、エアコン・空調機、冷蔵庫、照明設備など家庭や事業所における電気機器・ガス機器について、省エネルギー性能の高いものへの転換を促す。 そのため、省エネルギー性能の高い機器に転換することのメリットをPRするとともに、普及促進のための補助等の支援を行う。	①②③について、自宅が築30年で、設備面で気密性の点検、断熱性の工事を行う
				② 建物の省エネ化の促進	住宅建物の断熱性能を向上することで、冷暖房のエネルギーロスを抑制する。 太陽光発電等の再生可能エネルギーと組み合わせ、家庭の消費エネルギーの収支をゼロにするZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）や、省エネ基準適合住宅の普及を推進する。	①排気ガスの再利用の給湯器を交換、②③二酸化炭素排出量を調べる
				③ 自動車の省エネ化の促進	電気自動車等の環境性能に優れた自動車への乗り換えを促す。	①②③について、所有のハイブリット車を必要最低限の利用
				④ 暮らしの省エネ化の促進	省エネルギー・低炭素型の製品・サービスを選んだり、自ら行動したりするなど、市民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を促す国民運動により、暮らしの省エネ化、エコライフの定着を図る。	①②③について、省エネモードに努める。①はLED電球に交換。②は節水シャワーヘッドの交換・冷房28℃に保つ。
				⑤ 市役所における率先した取組	市の事務・事業に伴う温室効果ガスの排出抑制に率先して取り組む。	
		B	再生可能エネルギーの利用を進めます。	① 太陽光発電設備の導入	太陽光発電設備についての情報発信を進めるほか、発電設備の設置について補助等の支援を行うことで、再生可能エネルギーの導入を促進する。	①は太陽光発電の設置についてプラス面・マイナス面を考慮する。②はマイナス面の対応について検討する。③設置の方向で検討。
				② 再生可能エネルギーの利用促進	太陽光発電設備に加えて蓄電池設備を併用することにより、電力の自家消費を促す。また、再生可能エネルギー由来の電力への選択（契約の切り替え）を促す。	①②③について、売電価格の低下、発電量の不安定等に対する対応について調査・検討する
		C	脱炭素型のまちへの転換を進めます。	① 公共交通等の利用促進	エコモビリティライフを実践するための情報提供、環境整備を進め、公共交通の利用を促す。	①②③について、近くは徒歩か自転車、遠くは公共交通機関を有効活用する
				② ごみの減量	ごみの焼却処分に伴う温室効果ガスの削減を図るため、ごみの減量化を促進するとともに、プラスチックの資源化を進める。	①②③について、食品ロスの減少に努める。使い捨てプラスチックを減らす工夫をする
				③ 地産地消の推進	身近なエネルギー、資源、食品などを、無駄なく利用する“地産地消”を推進する。	①②③について、環境にやさしい地産地消に努める。買い物は農協の直売場や道の駅等で購入する。
				④ 緑の保全・創出	二酸化炭素の削減やヒートアイランド現象の影響抑制・緩和に寄与するため、緑の保全・創出を進める。	①②③について、北高上緑地で緑化の保存活動、生物多様性を増進作業を行っている。

令和7年度実績・令和8年度計画 取組シート

目標		施策方針			具体的施策内容	令和7年度実績・令和8年度計画
脱炭素社会づくり	温室効果ガス排出量の削減を推進します。	A	さらなる省エネルギー化を進めます。	① 省エネ性能の高い設備・機器の導入	給湯器、エアコン・空調機、冷蔵庫、照明設備など家庭や事業所における電気機器・ガス機器について、省エネルギー性能の高いものへの転換を促す。 そのため、省エネルギー性能の高い機器に転換することのメリットをPRするとともに、普及促進のための補助等の支援を行う。	<令和7年度> 店舗ショーケース、冷凍冷蔵設備、空調設備の省エネ機器への入替えを実施、蛍光灯からLED照明器具への切り替えを予定 <令和8年度、令和9年度以降> 店舗ショーケース、空調設備の省エネ機器への入替えを検討
				② 建物の省エネ化の促進	住宅建物の断熱性能を向上することで、冷暖房のエネルギーロスを抑制する。 太陽光発電等の再生可能エネルギーと組み合わせ、家庭の消費エネルギーの収支をゼロにするZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）や、省エネ基準適合住宅の普及を推進する。	<令和7年度> 宅配センター作業場の断熱工事を実施
				③ 自動車の省エネ化の促進	電気自動車等の環境性能に優れた自動車への乗り換えを促す。	<令和9年度以降> 営業車を電気自動車へ入替えを検討
				④ 暮らしの省エネ化の促進	省エネルギー・低炭素型の製品・サービスを選んだり、自ら行動したりするなど、市民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を促す国民運動により、暮らしの省エネ化、エコライフの定着を図る。	"コープあいち環境政策2030の環境方針4にあるエシカル消費と責任ある調達の推進として、「脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会」の実現を目指して一人一人の組合員が気軽に参加できる取り組みとして、毎年2回エシカルチャレンジを開催しています。 <令和7年度> 6月約2300人の組合員が参加。2回目は10月に予定しています。"
				⑤ 市役所における率先した取組	市の事務・事業に伴う温室効果ガスの排出抑制に率先して取り組む。	
		B	再生可能エネルギーの利用を進めます。	① 太陽光発電設備の導入	太陽光発電設備についての情報発信を進めるほか、発電設備の設置について補助等の支援を行うことで、再生可能エネルギーの導入を促進する。	<令和7年度> 新規事業所に太陽光発電設備を設置（発電出力130kw） <令和8年度> 新規事業所に太陽光発電設備を設置予定（発電出力80kw）
				② 再生可能エネルギーの利用促進	太陽光発電設備に加えて蓄電池設備を併用することにより、電力の自家消費を促す。また、再生可能エネルギー由来の電力への選択（契約の切り替え）を促す。	<令和7年度> 太陽光発電設備が設置できない施設において、再生可能エネルギー由来の電力への切り替えを予定
		C	脱炭素型のまちへの転換を進めます。	① 公共交通等の利用促進	エコモビリティライフを実践するための情報提供、環境整備を進め、公共交通の利用を促す。	<令和7年度> 公共交通機関の利用促進となる、パーク＆ライドを活用した通勤交通費規定の見直しを行った。
				② ごみの減量	ごみの焼却処分に伴う温室効果ガスの削減を図るため、ごみの減量化を促進するとともに、プラスチックの資源化を進める。	店舗での食品ロス削減の取組として、やむを得ず発生していた期限切れ商品や食品残渣は焼却処分ではなく、たい肥化やバイオガス発電の資源として分別回収を推進。<令和6年前年比94.9%削減> 店頭でペットボトルを回収し新たに包材としてリサイクルしている。 <令和6年4.1t回収> <令和7年13t回収中>
				③ 地産地消の推進	身近なエネルギー、資源、食品などを、無駄なく利用する“地産地消”を推進する。	店舗の食品残渣をたい肥化した肥料で作った野菜をコープ大高店にて“おかえり野菜”として取り扱っています。
				④ 緑の保全・創出	二酸化炭素の削減やヒートアイランド現象の影響抑制・緩和に寄与するため、緑の保全・創出を進める。	<令和9年度以降> 屋根の上に屋上緑化の設置などを検討